

◆ローザンヌ会議後のギリシアとトルコ、バルカン諸国地域の情勢

GALE PRIMARY SOURCES

Archives Unbound

Archives Unbound アーカイヴス・アンバウンド

米国国立公文書館所蔵 國務省文書デジタル・アーカイブ トルコ、ギリシア、バルカン諸国の外交事情

Turkey, Greece, and the Balkan States: Records of the U.S. Department of State, 1930-1944

(Source: U.S. National Archives [RG59, Decimal Files 767, 768, 770, 771, 774 and 775] / Content: 11,685 images)

FTE (学生数+教職員数)	5,000 以下	5,001~15,000	15,001~30,000	30,001 以上
買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください			

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※年間管理費(ホスティング・フィー)は不要です



本資料集は米国国立公文書館が所蔵する國務省文書のうち、1930年から1944年までのトルコ、ギリシア、バルカン諸国の外交事情に関する機密報告書を収録したものです。米国國務省からの各種指令や同地域に身を置く米国外交員・領事館員による報告書や公文、覚書、國務省と諸外国政府との通信記録などを網羅しています。第一次世界大戦後の講和会議であるローザンヌ会議において、ギリシア・トルコ間で住民交換条約が成立し、ローザンヌ条約調印は両国にとって歴史的転換点となりました。条約調印の1年後には難民の数が約70万人に達するなど、ギリシアとトルコ両国にとって国家再建の時代となる1923年から1933年までの10年間、その中軸には多数の難民の存在がありました。トルコは国父として名高いムスタファ・ケマル・アタテュルク初代大統領(在任:1923-1938年)が、独裁体制を確立し世俗主義を掲げながら政治、社会、経済、文化各方面に変革をもたらします。一方でギリシアは第二共和政期に入り、政治家エレフテリオス・ヴェニゼロスを中心に近隣諸国との友好関係改善に着手し、バルカン情勢の安定と経済協力を目的として1934年にはギリシア、トルコ、ルーマニア、ユーゴスラヴィアの4カ国にてバルカン協商を締結するに至ります。しかしながら、ナチス・ドイツやイタリアの台頭により1936年以降締結国の連携は瓦解し、第二次世界大戦期へと突入していくのです。

本資料集はトルコやギリシアのみならず、ルーマニアやブルガリア、アルバニアといったバルカン諸国の外交関係資料を収録しており、また中東や日本、中国といったアジア諸国と交わした友好(通商)条約に言及する資料にも収録対象は及んでいます。本資料集は米国國務省の外交文書を通して、戦間期から第二次世界大戦期のトルコ、ギリシア、バルカン諸国の政治、経済、社会情勢に接近します。

- ◆プラットフォーム: Archives Unbound
- ◆IPアドレス接続設定・同時アクセス無制限
- ◆ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整等のビューワ機能
- ◆印刷・PDFダウンロード可能
- ◆メール送信、書誌自動生成、ブックマーク機能
- ◆Google/Microsoftアカウントとのログイン



第一級の学術研究史料をデジタル化! 詳細は弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp

